

山形村防災訓練を清水高原地区でも実施

2016年9月4日 澤田 繁 著

山形村の2016年の防災訓練は9月4日の日曜日に行なわれた。村では地区毎に実施されるが、清水高原地区は山間地で離れているため、独自の地区として実施する事になった。

村から出された今年の重点課題は、安否確認情報の収集と災害時要支援者の所在確認・連絡班未加入世帯の安否確認情報収集とある。

清水高原地区(連絡班)の連絡班加入は11世帯であり地区自体の実施案内を事前に2度配布し、声も掛けました。

清水寺管理世帯は連絡班でもあるので人の把握は出来ていますが、事業所であるスカイランドきよみずは近くに寮があるため人の所在の事前調査をし、更に訓練出席をお願いしておきました。

9月4日9時、本来の1次避難場所であるスカイランドきよみずの直ぐ下のテニスコート隣接のテラスが今回の集合場所でした。下の地区の出席は余り良く無いと聞いていたので、集まってくれるか心配でしたが、ほとんどの方が時間通りに集まってくれてほっとしました。一世帯は予定より早い「出産」で来れなくなったとの連絡が入りました。

そう言えば、普段個々には会ってはいないが、清水高原連絡班の方が一同に会した事は、これまでなかったので何か変な気がした。それもそのはず初対面の組み合わせが多い、後で自己紹介をしましょう。(最後に集合写真を撮ってしまいました)

安否確認用紙に記入し、事前に用意した避難用マップを配布し、苦労して作成してくれた女房が避難用林道など、詳しく説明をしました、同時に40年近く住んでいる私どもが「ここで発生した災害」を語り、災害に備える一助となつたらいいなと思いました。



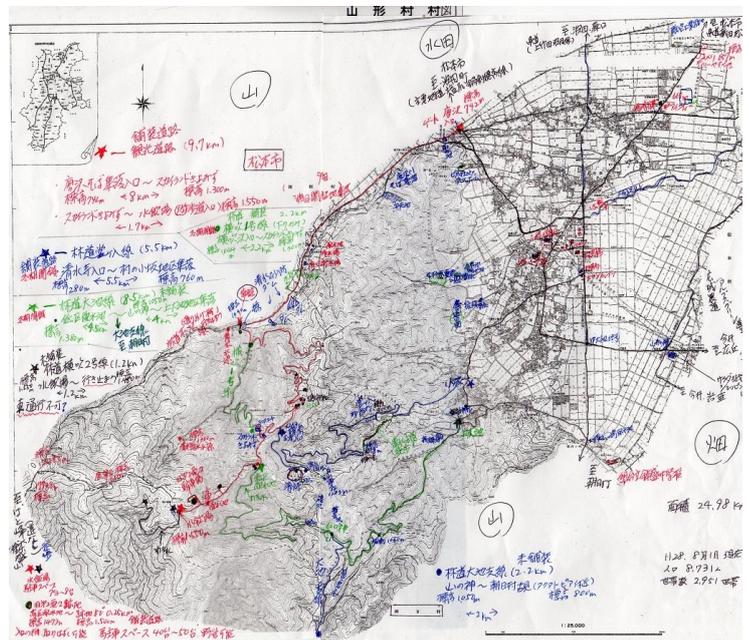
表1) H28.9.4地震総合防災訓練 安否確認票

世帯主の名前 及び 登録居住している人数 【事前に記入してください】	第1次避難した		第1次避難していない		連絡班名
	人数	人数	人数	人数	
山形太郎	4	3	1	0	
大地花子	2	1	1	0	
竹田一郎	1	0	0	1	一郎
小坂三郎	5	2	2	1	五郎

◆備えておきたい地域の情報
連絡班の世帯数や世帯主の人数、1人では避難が難しい人など事前にまとめた基礎資料と共に、隣近所協力して安否の確認です。こうした資料は訓練時だけでなく、準備しておくことも重要です。このような情報を持ち寄り、緊急時に備えたいマップ作りなると良いでしょう。

◆訓練であっても必ず連絡を取り合おう
安否確認は、1次避難所に集まらなくても、連絡班内の全世帯で行なうべきです。都合で訓練参加できない人も大勢いると思いますが、この訓練の大切なことは、連絡を取り合うことです。それでお連絡を取れない方を「安否不明として集計します」。

9月4日 防災訓練の実施にあたって
9月4日(日)の地震総合防災訓練は、地震発生時に隣近所でお互いの無事を確認し合い、所在がわからない人を把握するための安否確認を重点課題として実施します。訓練実施を前に、今年のポイント



5年前までテニスコートの周辺は木がしげり、ヘリコプターの降りる場所がありませんでした。コートを改修するタイミングに合わせて、20m以上の木90本近くを切って発着可能にしました。今回の訓練は、ドクターヘリの緊急着陸を想定した訓練とし、発着には2面あるコートのネット等が邪魔になるので、ネット巻き(常設)でワイヤをゆるめてネットを外す訓練・ネット支柱を外す訓練を行いました。救助ヘリの場合更に物が風で飛ばされないようにする訓練が必要となるのでやっかい。訓練後、その足でただちに安否確認表を村役場の対策本部に届けて終了となりました。